

航空専門学校という教育機関は全国で一桁の数しか存在しません。さらに、本校のように国土交通大臣指定の航空従事者養成施設として認定されている学校はその半分程度です。その希少性から知名度が今一つなのが本校の悩みでもあります。しかし、本校は1970年に開校以来、1万1千人以上の卒業生を航空宇宙産業へ送り出している「老舗」として、手前みそではありませんが、業界内では知られた存在です。北は北海道から南は九州・沖縄まで全国の学生が学んでいます。



航空専門学校というユニークさ

中日本航空専門学校長 磯本聡一

ここで各学科を簡単に紹介します。まずは学生に一番人気の航空整備科です。航空機を飛ばすには飛行機やヘリコプターの整備士資格を持った者による整備が必要です。この国家資格は数ある国家資格の中でも難関資格であり、3年間みっちり学科や実技を勉強しないととれません。本校は養成施設指定校として実地試験が免除で国家資格が取得できます。次に航空生産科です。岐阜県を含む中部地域は大手航空機メーカーの生産拠点があり、国内航空機製造の約半分を占めます。ここで各学科を簡単に紹介します。本科では航空機の設計・製造・検査までの一連の生産工程を3年間学ぶことで航空機メーカーの即戦力として活躍できる技術を学びます。最後にエアポートサービス科です。本科では空港でのグランドハンドリングスタッフ、旅客グランドスタッフおよび国際航空貨物の取扱スタッフなど、安全なフライトを支える国際派のスペシャリストを2年間の勉強で目指します。以上、本校では約800人前後の若者が将来の夢に向かって勉学に励んでいます。